

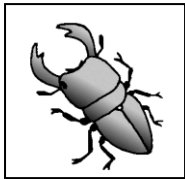
宇気郷住民協議会だより～No.4



三世代ふれあいまつりは、堀坂山の家を会場に晴天に恵まれて、盛況のうちに終わることができました。

「もちつき」「あまごつかみ」「ミニカラオケ大会」と大いに楽しんでいただいた300余名の方々、実行委員の皆さまに感謝申し上げます。

今後は、夏祭り、体育祭、敬老会などの行事が続きます。夏祭り、体育祭は伝統や歴史を大切に各自治会を主体に取り組んでいくことになろうかと思えます。敬老会は実行委員会方式で楽しい企画を考えたいと思えます。



先日、総会において松阪市による「地域の元気応援事業」に提案しました“昆虫の里づくり”が支援事業に選ばれました。これも各町で実施提案を考えていただき、全体のものとしていきたいと思えます。

住民協議会の事業については、総会決定の予算を勘案していただき、住民協議会運営委員会に向けて、各町自治会等主体の計画や提案をどんどん事務局に出していただきたいと思えます。各行事の肉付けは、まずは各町住民さんの発想と行動計画から…と考えています。

今年度は当地区の重要課題について「長期計画」（5年、10年後を見据えた計画）を作成していかなければなりません、そのためには次の3つの視点が必要となります。

1. まずは安全・安心委員会を中心に、高齢者、一人暮らしの方などの見守り施策や移動手段（交通問題）について考える。
2. 地域活性化委員会では過疎化の歯止め策としての移住問題、それに伴う住居や水の問題などに対する計画を練る。
3. 生きがい学習委員会では、住みやすい地域づくりについての生涯学習のあり方などを考察していく。

皆さんのお考えやご意見、ご提案など、どんな方法でも結構ですので、市民センターの事務局までどしどしとお寄せ下さい。小さい地域ごとの提案が沢山集まって、住民協議会全体のよりよい取組みが決定されていくものであることをご認識願います。

